

基礎案での記載箇所		章項目	5. 5. 4	ページ	p.51	行	12行目
事業名	利用関係事業(漁業)		河川名	淀川水系各河川			
府 県	大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・奈良県・三重県						

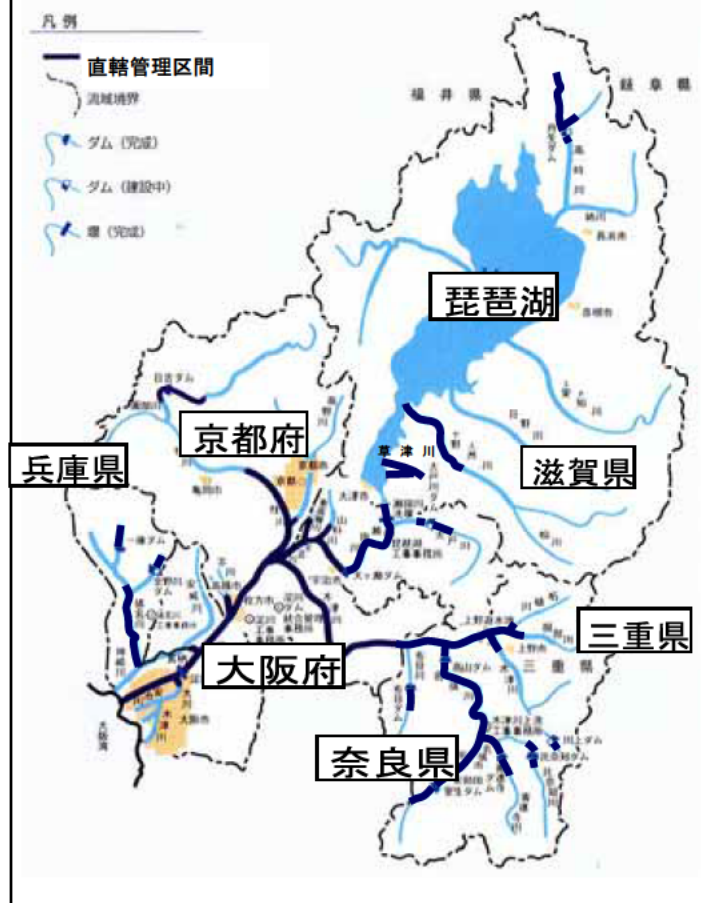
●現状の課題

河川形状の変化、水質や底質の悪化、水位変動の減少や外来種の増加等様々な要因が、生物の生息・生育環境を改変し、固有種をはじめとする在来種の減少を招いている。

●河川整備の方針

淀川水系における生物の生息・生育環境の保全・再生を目標とする各施策を実施することにより、河川環境を保全・再生し、結果として水産資源の保護・回復につなげる。

●位置図



●具体的な整備内容

- 詳細は「5. 2河川環境」に記載しているが、以下のような施策を実施することにより結果として、水産資源の保護・回復につなげる。
- (1) 横断方向及び縦断方向の連続性の修復
 - (2) 治水・利水への影響を考慮した上で、水位変動や攪乱の増大等。
 - (3) 河川の流入総負荷量管理や自治体、関係機関、住民・住民団体とのデータの共有化及び琵琶湖・淀川水質管理協議会(仮称)の設立を検討する。
 - (4) 土砂動態のモニタリングを実施し、総合土砂管理方策について検討。
 - (5) 河川環境上必要な水量を検討するとともに、確保可能な水量を把握するために必要な諸調査を実施。

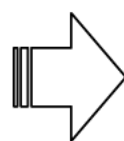
●スケジュール

H15	H17	H19	H21	H23	H25

●概要

生物の生息・生育環境の保全・再生を目標とする各施策を実施する

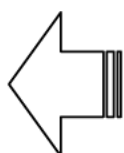
■横断方向及び縦断方向の連続性の修復



魚道設置



連続性
の確保



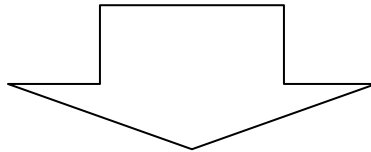
結果として水産資源の保護につながる

整備効果

淀川水系における生物の生息・生育環境の保全・再生を目標とする各施策を実施することにより、河川環境を保全・再生し、結果として水産資源の保護・回復につなげる。

提案理由(代替案含む)

河川形状の変化、水質や底質の悪化、水位変動の減少や外来種の増加等様々な要因が、生物の生息・生育環境を改変し、固有種をはじめとする在来種の減少を招いている



水産資源の保護が求められている

琵琶湖での取り組み

●具体的な整備内容

以下の施策を実施することにより、水産資源の保護・回復につなげる。

(1)横断方向及び縦断方向の連続性の修復

(2)治水・利水への影響を考慮した上での水位操作

●事業費

・全体事業費	円
・うち執行済	円
・うち整備計画期間内	円
・うち整備計画期間以降	円

●実施スケジュール

— 実施

H15	H17	H19	H21	H23	H25
—					

●整備効果

淀川水系における生物の生息・生育環境の保全・再生を目標とする各施策を実施することにより、河川環境を保全・再生し、結果として水産資源の保護・回復につなげる。

●提案理由

河川形状の変化、水質や底質の悪化、水位変動の減少や外来種の増加等様々な要因が、生物の生息・生育環境を改変し、固有種をはじめとする在来種の減少を招いていることにより、水産資源の保護が求められている。

●委員会等からの意見

「基礎原案に係る具体的な整備内容シートについての意見書」において、「漁業者は、伝統的知恵に準拠しながら琵琶湖の湖内の状況を日常的にモニタリングしている存在であることに鑑み、また、適切な漁業そのものは琵琶湖生態系の保全に寄与するものであるから、その振興対策を広く検討することが、とくに重要である。但し、いわゆる<栽培漁業>など従来行われていた施策の中には、緊急的には必要悪として認められるものの、長期的には逆の効果をもたらしていた実績に鑑み、既成事実にとられることなく行うことが不可欠である」とした、しかしこの琵琶湖における漁業の振興の件に関しては、「基礎案に係る具体的な整備内容シート」に記載されておらず、さらに今回の「進捗状況報告書」でも扱われていないことは、極めて遺憾である。直ちに「検討」に入りたい。【琵琶湖部会】

●進捗状況

琵琶湖の固有種であるニゴロブナ、ホンモロコなどを増やすための効果的な対策を行うため、高島市域の農業、漁業、河川管理の関係機関が連携し、対策に関する協議・調整、各機関が実施する事業の情報交換などを主とした「琵琶湖とたんぼを結ぶ連絡協議会」を設立した。

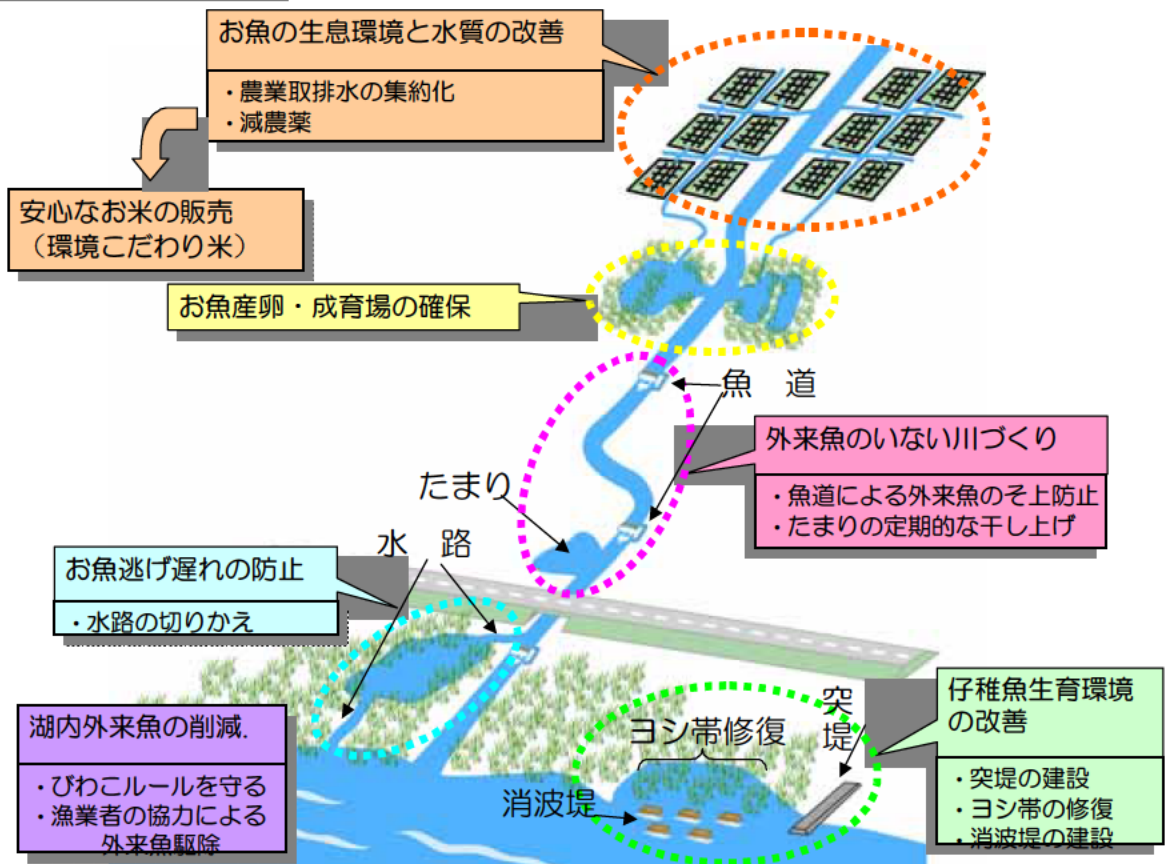
また、平成15年から生態系に配慮した瀬田川洗堰の試験操作を実施し、魚類の生息・生育環境の回復を図っている。

●今後の見通し等

「琵琶湖・陸域連続性回復協議会(仮称)」の設置の予定。
瀬田川洗堰の試行操作とモニタリングを継続的に実施。

●進捗状況(写真・図面)

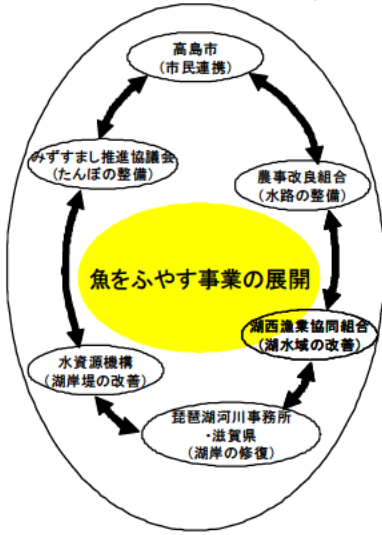
取り組みのイメージ図



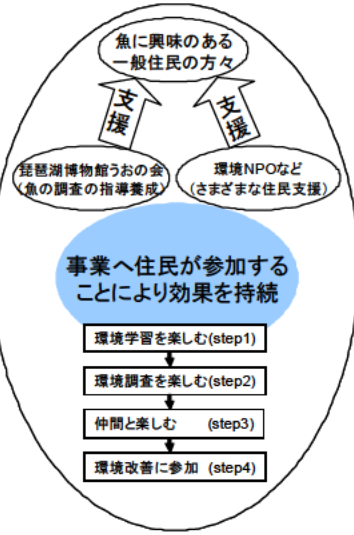
●進捗状況(写真・図面)

高島市域の行政などが連携した「琵琶湖とたんぼを結ぶ連絡協議会」のイメージ図

琵琶湖とたんぼを結ぶ連絡協議会
(行政間の調整連携)



お魚ふやし隊(住民連携)



行政各機関の取り組み事例

【国土交通省と滋賀県が協働した取り組み】



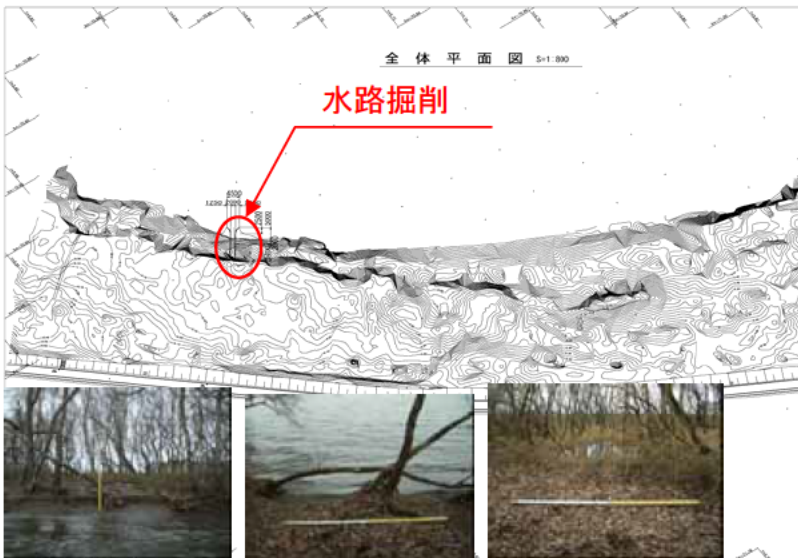
「針江浜うおじまプロジェクト」

【水位低下に強い湖岸環境の修復事業】

琵琶湖流入河川を堰き止めて、湖岸に取り残された仔魚や産卵に訪れる親魚にやさしい環境を創出する事業

【ヨシ帯の修復と再生】

風浪の影響で洗掘が発生しヨシ帯が減少した箇所に木杭漂砂防止堤と粗朶消波堤を設置し、ヨシ群落の回復を図る事業



「深溝うおじまプロジェクト(仮称)」
【水位低下に強い湖岸環境の修復事業】

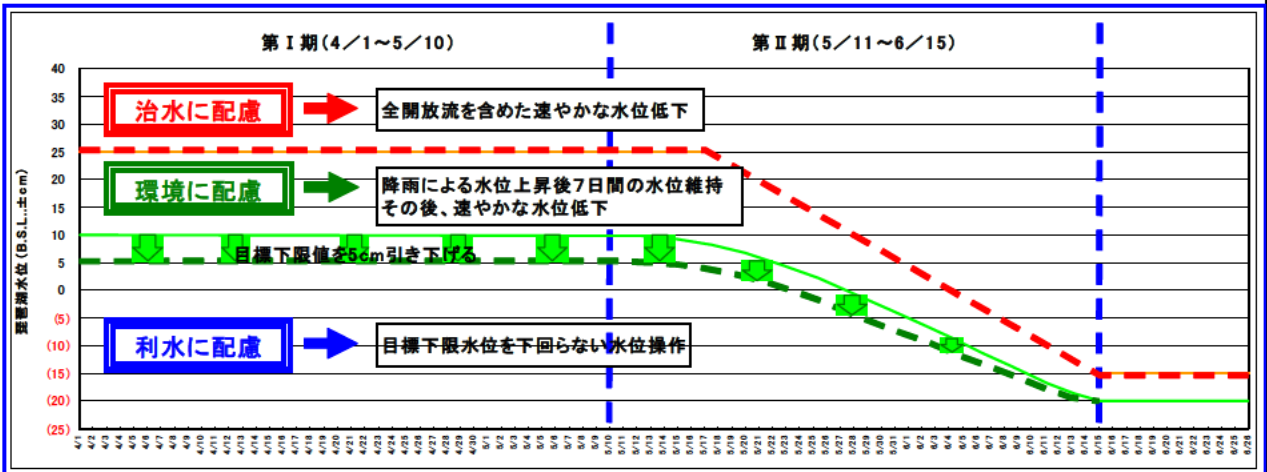
針江地区と同様、湖岸に取り残された仔魚や産卵に訪れる親魚などが産卵・ふ化後、琵琶湖に戻れるような環境を創出する事業

●進捗状況(写真・図面)

1. 琵琶湖水位変動の試行について

平成17年度の琵琶湖水位の試行としては、文献調査や平成15年・16年産卵等調査の結果より、次のとおりとした。

- ①水位上昇後の水位維持日数を7日間とする
- ②第Ⅰ期の水位維持の目標下限値をB.S.L+5cm、上限値をB.S.L+25cmとする
- ③洪水期制限水位(B.S.L-20cm)に向け、水位維持の上限値を6月16日時点で洪水期制限水位のプラス5cmを目標に水位低下させる



2. 平成17年産卵等調査について

琵琶湖の環境に配慮した水位変動の検討にあたり、水資源機構と連携して琵琶湖沿岸部において、コイ科魚類の産卵、仔稚魚の生息について調査を行った。

○調査地点



○調査項目

項目		地点
漁業実態調査	操業日誌	湖西漁協
	漁獲物買い上げ	湖西漁協
水質調査	水質常時観測	高島市針江
		湖北町延勝寺 St.B
		湖北町延勝寺
魚卵調査		高島市針江
		湖北町延勝寺 St.B
		湖北町延勝寺
		高島市勝野
仔稚魚調査	重点地区調査	高島市針江 湖北町延勝寺 St.B 湖北町延勝寺
	広域調査	高島市勝野 高島市針江 湖北町延勝寺 守山市木浜町 大津市雄琴四丁目
外敵食性調査		高島市勝野 高島市針江 湖北町延勝寺 守山市木浜町 大津市雄琴四丁目
測線調査		高島市勝野